

平成30年3月5日

羽生市議会議長 松本 敏夫 様

羽生市議会 拓政会 保泉 和正



行政視察報告書

行政視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

1. 視察項目 公共施設の総合管理計画について
2. 視察日程 平成29年10月24日(火)～平成29年10月25日(水)
3. 視察概要
  - ①視察先 富山県滑川市  
視察事項 公共施設等総合管理計画について
  - ②視察先 富山県射水市  
視察事項 射水市における公共施設マネジメントについて

●保泉 和正

全国の地方自治体は、既に到来している人口減少、少子高齢時代において、厳しい財政状況下での地域経営が求められています。

公共施設に関しては、整備時に求められていた市民ニーズ、目的、規模、利用方法等が、時代と共に大きく変化し、地域の現状と施設のあり方との乖離が大きくなっており、今後更に拡大するものと思われる。このことは、本市においても同様である。

多くの公共施設が老朽化し、維持管理費の増大が進み、地域経営にとって今後大きな問題となることから、富山県滑川市と富山県射水市を訪れ視察研修を行いました。

特に、射水市は、平成17年1市3町村で広域合併を行い、人口93,580人となり、面積も拡大した為、各市町村でこれまで利用されていた施設が439と多く、この問題に積極的に取り組んで成果を上げている。

その方法として、まず、議会は、「公共施設のあり方検討特別委員会」を設置し、調査研究、公共施設に関する市民アンケートの実施、市長は、「市長出前講座」を全27地域で催し、反対の市民の地域には納得されるまで出向いて説得をしたとの事である。その結果2/3に当たる施設を統合、廃止、合併と目標どおりの成果を上げたようである。市民や議会等と十分なコミュニケーションを取りながら、合意形成を図っていくことが必要であり、首長と議会が、本気になって取り組むことにより達成できると確信を得た次第である。

今回の視察研修は、本市の今後にとって意義深いものであった。

尚、富山県滑川市：あいさつ 中島議長・説明 奥村係長

富山県射水市：あいさつ 竹内議長・説明 塩谷課長ほか

以上報告書といたします。

●島村 勉

①富山県滑川市 公共施設等総合管理計画について

滑川市議会 中島議長に挨拶を頂き、総務部財政課 奥村係長から説明を受けました。

滑川市の市制施行は昭和29年と、羽生市と同時期であり、時代背景も同じで、昭和50年代前半から約15年間にわたり、小学校や市営住宅、スポーツ関連施設などの公共施設をはじめ、道路、橋梁などのインフラを集中的に整備した。現在、老朽化が進み、近い将来一斉に改修、更新時期を向かえ、新たに建て替える場合、膨大な費用が想定される。また、利用や需要の変化に対応した更新、統廃合、長寿命化を考える必要性に迫られる。羽生市も同じ様な状況であり、今回、先進的な取り組みを計画性を持ち進めている滑川市の公共施設の管理方法を勉強させていただいた。簡単には真似できるとは思いませんが、羽生市の財政事情に合わせて、施設の劣化や損傷が致命的になる前に、適切な措置を講じる「予防安全」の考え方による計画的な維持管理、更新を実施していくことや、各施設の長寿命化計画等に基づき、定期的な点検、診断により、現状把握に努め、計画的な管理が必要であると学んできました。

②富山県射水市 射水市における公共施設マネジメントについて

<p>射水市議会 竹内議長に挨拶を頂き、企画管理部人事課 塩谷課長と森田課長補佐、大久保主任の3人から説明を受けました。</p>
<p>射水市公共施設等総合管理計画の策定の経緯は、平成17年11月1日に1市3町1村で合併し、複数の同種・同目的の施設が老朽化し、一斉に多額の費用が必要となり、また、人口減少、高齢化により、改修更新、統廃合の必要性に迫られる状況となった。</p>
<p>総合管理計画の対象施設数は、公共施設では439施設(建物)があり、バブル期の遺産も築30年以上経過し、生かすも地獄、廃止するのも地獄の状況である。</p>
<p>更新費用の見通しは、建物においては、今後40年間で1,418億円、年間平均35.5億円となり、インフラは、今後40年間で2,471億円、年間平均61.8億円となっている。</p>
<p>更新の考え方は、建物においては、大規模改修を建築後30~35年に延長し、更新は建築後60~70年に延長している。</p>
<p>インフラは、予防保全、事後保全、観察保全に取り組む。</p>
<p>建物は、単に廃止するのではなく、総量を抑制しつつ有益性、必要性を検討し、賢く使い、また、インフラは、工夫し長寿命化を図るとしている。</p>
<p>管理の考え方は、総量の削減、長寿命化、計画的な修繕を実施する。また、市民満足度の向上、ソフト事業の充実の考えのもと、安全確保のため、危険性が認められる施設は、利用を一時停止し、早期に修繕し、場合によっては、廃止も検討する。</p>
<p>さらに、民間への売却も検討している。</p>

以上から、射水市は、羽生市とは規模や条件など異なる部分がありますが、考え方はおおいに参考になる

と思います。

羽生市でも、改修、更新、統廃合を考えなければならない建物やインフラがありますので、今回の視察を

もとに十分検討したいと思います。